

開催年月日 令和4年12月6日(火)
 質問者 日本共産党 真下 紀子 議員
 答弁者 少子高齢化対策監 鈴木 一博

質 問 内 容	答 弁 内 容
<p>四 就学援助の活用等について (一) 子育て世帯の困窮把握と教育への影響等について</p> <p>物価高騰等の影響を受け、子育て世帯の困窮度が増し、学業や体験学習にも影響が出ています。知事及び道教委は、児童生徒への困窮度合いと影響をどう把握し、対応しているのか伺います。</p>	<p>【少子高齢化対策監】</p> <p>就学援助の活用等に関し、子育て世帯の生活実態の把握などについてであります。道では、子どもの生活実態調査において、子育て世帯の経済状況に関する項目についても調査しており、現在、調査結果の精査を進めているところでございます。</p> <p>また、北海道母子寡婦福祉連合会と意見交換を行う中で、本年8月に道母連が実施した独自調査の結果、子どもがいる会員の約8割が「物価高騰で困っていることがある」と回答し、「食費を節約している」などの意見があったと伺っており、物価高騰が子育て世帯の家計にも影響を及ぼしていると認識しているところでございます。</p> <p>国では、子育て世帯に対する新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響を考慮し、昨年からは、児童扶養手当受給世帯など低所得の子育て世帯に対し、3回の特別給付金を支給しており、道といたしましても、本年度、物価高騰に対する独自策として、上乘せ給付を実施し、必要な世帯への支援を実施しているところでございます。</p>